

人間科学研究グループ 准教授 伊藤大輔

研究テーマ：活用・探究のプロセスを重視した学びのデザインとその評価に関する研究

研究の特徴：習得・活用・探究の過程にプロジェクト学習を位置付けたカリキュラムのデザインと、そこでの学習評価の在り方についてパフォーマンス評価を中心に検討する。

研究紹介：

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」とともに「主体的・対話的で深い学び」がキーワードとなっている。特に後者に関連して、中央教育審議会（2015）では、「習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか」という視点からの授業改善が要請されている。これまでの所与の教育内容を「順序だてて系統的に指導すること」に加え、習得した知識や技能を活用した学習や、探究的な学習活動が大切になる。また、そうした学習活動の基盤として、各教科等と総合的な学習（探究）の時間を有機的に関連づけた教育課程編成や、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの充実が必要不可欠となる。さらに、こうした新たなニーズに対応した教員養成や現職教員の研修は、大きな課題であると言える。

そこで、プロジェクト学習（project-based learning）に注目しながら、活用・探究のプロセスを重視した学習活動のデザインやその評価に関する研究（図 1）、またそれらの成果を生かした教科教育法や教員研修プログラムの開発に取り組んでいる。

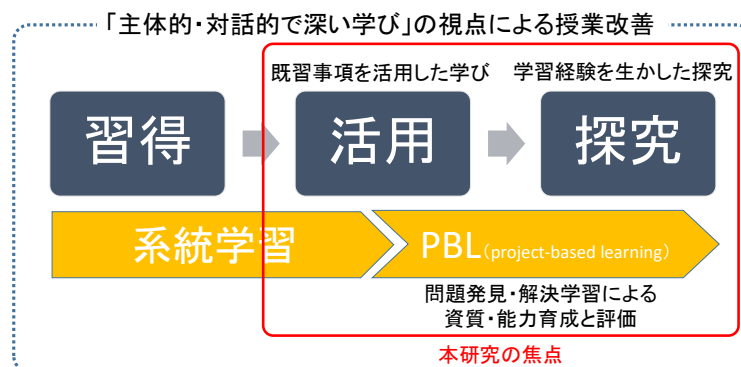


図 1. 本研究の概念図

研究業績（2013 年度以降）

- ・査読付論文：2 件
- ・査読無論文：10 件
- ・著書：2 件
- ・学会報告等：24 件
- ・競争的研究費：科研費 3 件（基盤 B 分担 1、挑戦的萌芽代表 1、基盤 C 代表 1）

その他

担当授業では、1) 到達目標と学習課題（試験、レポート等）との関連性の明確化、2) 各学習課題の評価基準（ルーブリック）の事前公開を行っている。